

施設名称：大阪府立近つ飛鳥博物館等		指定管理者： A K N 共同事業体		指定期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日		所管課：大阪府教育庁 文化財保護課			
評価項目		評価の基準（内容）	指定管理者の自己評価 （12 月記入）	評価	施設所管課の評価 （ 1 月記入）	R5	R6	R7	評価委員会の指摘・提言
				S～C		評 価	評 価	評 価	
I 提案の履行状況に関する項目	(1)施設の設置目的および管理運営方針	◇館の設置目的及び提案内容に沿った管理運営がなされているか ○資料の収集・保管・展示	○資料の収集、保管、展示 ・常設展示室・特別展示室は、目視点検により展示品を管理。 ・展示室・収蔵庫（特別・一般）において温湿度データ収集。 ・特別収蔵庫温湿度のモニター監視。 ・重要文化財「修羅」の点検を 2 月に実施予定。また、紫金山古墳・南塚古墳の保存状況点検を実施予定。 ・写真画像等の管理・保管については、写真室で温度管理の下で保管し、画像の貸出等に対応している。 ・新規寄贈図書をデータベースに入力 950 冊。	A	○資料の収集・保管・展示 評価基準を満たしている。実物資料の適切な管理・活用等が行われているほか、関係機関等からの多数の寄贈図書についても適切に管理されている。	A	A		
		○調査研究による最新の成果の発信 ・館報の刊行 1 回 ・図録の刊行 3 回	○調査研究による最新の成果の発信 ・館報を 3 月に刊行予定。 ・春季企画展・夏季特別展・秋季特別展において図録を刊行した。		○調査研究による最新の成果の発信 年度内に評価基準を満たす見込みである。 各展覧会に関する充実した内容の図録が刊行された。研究報告も博物館の調査研究発信の取組みとして適切に刊行した。				
		○一須賀古墳群との一体的な活用	○一須賀古墳群との一体的な活用 ・校外学習等に対しては、風土記の丘のウォークラリー等を積極的に紹介。 （校外学習におけるウォークラリー件数／4 月～11 月 6 校） ・風土記の丘古墳探検ツアーの実施 ・自然観察会等の実施の補助などを通して、多角的な利用に便宜を図り、古墳や古墳時代に興味・関心を醸成していただく取り組みを行っている。		○一須賀古墳群との一体的な活用 評価基準を満たしている。校外学習や展示等を通して一須賀古墳群との一体的な活用を図っている。考古学分野にとどまらない試みとして、自然観察会や近隣大学との連携など、地域の博物館として多角的な活用の姿勢がみられる。				

			・大阪芸術大学との連携展示において、一須賀古墳群出土の資料を展示予定。 ・うめまつり（2月22日（土）・23日（日））、さくらまつり（3月29日（土）・30日（日））を開催予定 ◎自己評価 館の設置目的及び提案内容に沿った管理運営を実施した。		◎施設の設置目的および管理運営方針にかかる評価 すべての評価基準を満たしている、またはその見込みである。研究の成果の発信及び一須賀古墳群との一体的な活用において、多角的な試みが図られていると評価できる。					
	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	◇公平なサービスの提供と対応、障がい者・高齢者等への配慮がなされているか ○高齢者、障がい者等への利用援助 ○子どもにもわかりやすい解説の充実 ・子ども向け解説・リーフレットの提供等 9回	○高齢者、障がい者等への利用援助 ・敬老の日（9月16日）に65歳以上入館料無料として利用促進を図った（総入館者数219名）。 ・受付に老眼鏡を配備し、希望者に貸し出している。 ・障がい者支援施設の施設利用に対する要望、また支援学校等の校外学習にも適切に対応している。 ※12月6日（金）に大阪府立西浦支援学校高等部の校外学習に、学校と協力相談しながら対応予定。 ○子どもにもわかりやすい解説の充実 ・春季企画展／解説シートの作成・オリジナルキャラクター人気投票（2回） 春季企画展では、解説シートを無料配布して展示内容をより深く理解できるよう配慮するとともに、大人も子どもも楽しめるように展覧会オリジナルキャラクター人気投票を実施した。 ・夏季特別展フロタージュ作成とフォトスポット設置（フロタージュ4点、フォトスポット1点） 夏季特別展では、展示品を身近に感じてもらえるよう、展示資料をモチーフにしたフロタージュを常設し、作品を壁面に掲示できるコーナーを設置した。また展示に親しんでいたため、あわせて広報にも資するため、フォトスポットを設置した。 ・「もっと知りたい」パネルの設置（4点） 各展覧会では、解説パネルの図や文字を大きくしてわかりやすく表示したり、子ども向け解説パネル（「もっと知りたい」パネル）を設置したりするなど、わかりやすく丁寧な解説を心がけた。 ・ワークシートの活用（指令書1点、ラリーカード1点）	A	○高齢者、障がい者等への利用援助 高齢者や障がい者への援助や、利用促進を図る事業が実施されている。 ○子どもにもわかりやすい解説の充実 評価基準を満たしている。子ども向けの解説パネルやリーフレットの提供を計11点行ったほか、人気投票2回の実施など、企画展・特別展の際にはそれぞれの展覧会に合わせたコンテンツを用意することで、子どもにもわかりやすい解説を心掛けるなど、その充実が図られている。	A	A			

			校外学習では、ワークシート（指令書）の利用を推奨するとともに、展示室内の見学には、学芸員やスタッフが常駐し、質問への対応や簡単な解説など丁寧な対応に努めている。 ◎自己評価 校外学習の受け入れは事前に周到な準備を行い、利用者とコミュニケーションをとりご要望に添えるよう、適切な対応に努めた。		◎平等な利用を図るための具体的手法・効果にかかる評価 すべての評価基準を満たしている。学校への積極的な利用を促すとともに、内容面でも当該の年齢層からの支持を得られるように工夫をしている。					
	(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	◇利用者増加のための工夫がなされているか ○展覧会・スポット展示等の実施 ・開催回数 5 回 ○講演会等の実施 ・特別展・企画展等関連講演会、入門講座等の実施 18 回 ○学校教育との連携 ・学校等の受入 ・学校教育の発表の場の提供 4 回 ・出前授業の実施 ・博学連携事業の推進	○展覧会・スポット展示等の実施 ・春季企画展「四天王寺と古代王権」（開催日数 50 日、展示室入場者 4,283 人） ・夏季特別展「5 周年!すごいねん!!百舌鳥・古市古墳群!!!」（開催日数 56 日、展示室入場者 5,605 人） ・秋季特別展「発掘された日本列島 2024」地域展 一須賀古墳群と渡来人（開催日数 49 日、展示室入場者 4,617 人） ・スポット展示「地震と考古学 湖底遺跡と地震跡」（滋賀県立安土城考古博物館との相互展示）（1 月 18 日（土）～2 月 16 日（日）を予定） ・スポット展（大阪芸術大学との連携展示）「脈打つ情景」（1 月 25 日（土）～2 月 11 日（月・祝）を予定） ○講演会等の実施 講演会：春季企画展関連 1 回（講師 2 名）、夏季特別展関連 2 回（講師 5 名）、秋季特別展関連 3 回（講師 6 名）を実施した。 土曜講座：4 回実施（計 6 回実施予定） 入門講座：4 回実施（計 6 回実施予定） ○学校教育との連携 ・学校等の受入 9 回（11 月現在）。 12 月に 1 回受入を予定。 ・学校教育の発表の場の提供 3 回。 南河内東部小学校「児童はにわ展（出前授業作品展）」（開催日数 15 日間、入館者数 4,474 名） 古墳の森コンサート（南河内地区高校軽音楽部）	A	○展覧会・スポット展示などの実施 年度内に評価基準を満たす見込みである。 春季企画展・夏季特別展においてそれぞれ開催された博物館・百舌鳥古市古墳群の周年記念展覧会や、弥生文化博物館と同時開催した「発掘された日本列島 2024」では、考古資料の優品を多く展示した。広く受け入れられる内容の展覧会を実施することにより、来館者の増加につながった。くわえて、大学との連携を活かした展示を実施する点は、博物館の特徴を活かした試みであり、評価に値する。 ○講演会等の実施 年度内に評価基準を満たす見込みである。 ○学校教育との連携 ・学校等の受入 評価基準を満たしている。 ・学校教育の発表の場の提供 現時点で評価基準を満たしておらず、年度内に評価基準を満たす見込みは定まっていない。	A	A			

		春4月29日(月・祝)(120人)、秋11月3日(日・祝)(130人)の2回開催 ・出前授業の実施 53校 ・博学連携事業の推進。 大学からの要望により博物館実習を実施(8月7日～8月11日)。また、四天王寺大学の博物館実習(10月26日)を実施。 遠方他府県の高等学校・中学校の研究旅行受入れ(11月17日 田園調布学園中学校)。 大阪芸術大学との連携協定に基づき、芸術計画学科と共催で、考古資料と芸術のコラボレーションによる展示を1月25日から2月11日に実施予定。		・出前授業の実施 評価基準を満たしている。 ・博学連携事業の推進 評価基準を満たしている。				
		○「でかける博物館」事業の実施 ・出張展示 2回 ・出張講座・ワークショップ 5回 ・れきしウォーク 3回	○「でかける博物館」事業の実施 ・滋賀県立安土城考古博物館での出張展示「地震と考古学 応神天皇陵古墳に見える地震災害の痕跡と後世の祭祀」(開催期間1月25日～2月24日を予定)。 ・大阪府立狭山池博物館との連携展示「遺跡からみる災害と復興」(2月8日～3月23日を予定) 主催 大阪府教育委員会、公益財団法人大阪府文化財センター、大阪府立狭山池博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館 ・出張講座 2回 近鉄文化サロン阿倍野 摂河泉考古学談義 2024 ・出張ワークショップ 7回 道明寺天満宮(ハニワづくり) 守口市役所(勾玉づくり) 堺市東文化会館(ハニワづくり) MC みはら(スリーステップで古墳を学ぼう) 島本町立人権文化センター(勾玉づくり) 旧河澄家住宅(ハニワづくり) 山本家住宅「結縁祭」(土器・銅鏡パズル、勾玉作り) ・大阪および近隣の古墳や史跡を当館学芸員が案内する「れきしウォーク」を3回実施。	○「でかける博物館」事業の実施 ・出張展示 評価基準を満たしている。 ・出張講座・ワークショップ 評価基準を早々に満たし、更なる上積みをはかっている。 ・れきしウォーク 評価基準を満たしている。				
		○「府民が参加する博物館」事業の実施 ・近つ飛鳥ギャラリーの実施 5回	○「府民が参加する博物館」事業の実施 ・近つ飛鳥ギャラリーの実施 3回(今年度5回予定) 5月14日(火)～26日(日) 太子町水彩画クラブ作品展 7月20日(土)～8月4日(日) 第5回 kids 考古学新聞コンクール全国巡回展 10月3日(木)～31日(木) ボタニカルアート手法による	○「府民が参加する博物館」事業の実施 ・近つ飛鳥ギャラリーの実施 年度内に評価基準を満たす見込みである。				

		・一須賀古墳群の史跡指定 30 周年を記念して入館無料とし、古墳群に関する認知度向上を図った（10 月 5 日（土）／展示室入館者数 154 人）。 ・「関西文化の日」に参加して入館料無料の日とし、府民の利用を促進した（11 月 16 日（土）・17 日（日） 展示室入館者数計 806 人）。 ・敬老の日 65 歳以上入館料無料として利用促進を図った（9 月 16 日（月・祝）入館者数計 219 名）。 ・うめまつり（令和 6 年 2 月 22 日（土）23 日（日）予定 ・さくらまつり（令和 6 年 3 月 29 日（土）30 日（日）予定 ○インターネットの活用 ・ホームページの更新 更新回数 70 回 ・SNS の活用 Facebook、Instagram の投稿数計 150 回 ○展示解説リーフレット・解説シートの配布	○インターネットの活用 ・ホームページ更新 68 回 ・Facebook 75 回（フォロワー数 1,540 人） ・YouTube チャンネル登録者数 490 人 企画展示・風土記の丘などの紹介動画、展示解説動画を作成し Facebook、YouTube で公開 ・Instagram 投稿数 58 回（フォロワー数 801 人） Instagram では、これまでの当館行事等や考古学的内容の発信に加え、建物や風土記の丘の自然など、新たな魅力を発見してもらうための内容にも拡大して行っている。 ○展示解説リーフレット・解説シートの配布 ・リーフレット 春季企画展、夏季特別展で作成 ◎自己評価 昨年度改修を行ったホームページの活用を進めるとともに、SNS での情報発信を積極的に行っている。また、特別展・企画展の際には、効果的な広告媒体へ発信をして、SNS 広告の採用なども行い、広範に博物館・風土記の丘の魅力やイベントなどの情報を発信するとにより、明確な効果が表れている。		○インターネットの活用 ホームページや SNS により積極的に催事の告知や活動の発信がなされている。SNS・ホームページ更新については年度内に評価基準を満たす見込み。 SNS ごとの発信内容・方針を明確にして運用しており、順調にフォロワー数も増加している。 ○展示解説リーフレット・解説シートの配布 実施されており評価基準を満たす。 ◎サービスの向上を図るための具体的手法・効果にかかる評価 すべての評価基準を満たしている、あるいは満たす見込みである。前年度に引き続いて各方面への積極的な発信が図られており、認知度の向上につながっている。くわえて、館の活動情報の提供に注力する姿勢が伺え、インターネットを通じたサービスの向上が図られている。					
(5)施設及び資料の維持管理の内容、的確性	◇施設・設備の維持・安全管理計画は適切か ○施設及び資料の管理 ・年間計画の策定と適切な実施	○施設及び資料の管理 ・年間計画の策定と適切な実施 AKN 共同事業体各社との柔軟な連携のもと、施設管理年間計画を策定、月 1 回の J V 会議を開催し、情報共有・対応策の即時実施に努めた。	A	○施設及び資料の管理 ・年間計画の策定と適切な実施 年間計画が策定され、計画に沿った施設管理が実施されている。また、緊急を要する災害時や機器等故障時においても適切な対応がなされている。	A	A				

		・定期点検の実施と記録簿の作成
--	--	---

		◇就職困難者等の雇用 ◇府民・NPO との協働 ◇環境問題への取組み ◇大阪府障がい者差別解消条例等に基づく合理的配慮の提供	◇就職困難者等の雇用 知的障がい者 1 名の清掃業務への雇用を再委託先で実施。 ◇府民・NPO との協働 例年、NPO 法人等と協働し、古墳の見学会、講演会等の館外活動を実施している。今年度は 3 月 30 日に NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会による「さくらウォーク」を実施予定。 ◇環境問題への取組み エネルギー価格高騰や電力需給のひっ迫等への対応として、省エネ・節電に努めて、クールビズ(関西夏のエコスタイル)、ウォームビズの取り組みを実施し、館内温度、照明等に関して省エネルギーの意識を徹底させ、バックヤードの過剰照明の間引き、消灯などに取り組んでいる。 ◇大阪府障がい者差別解消条例等に基づく合理的配慮の提供 観光庁による「心のバリアフリー認定施設」の認定を取得。また聴覚障害者対応した UD トークの導入を図った。支援学校や障害者施設等の校外学習受入を積極的に行っている。12 月に支援学校高等部を受入予定しており、ワークショップを行う。 ◎自己評価 世界遺産百舌鳥・古市古墳群の造営にかかわる地域や産業などに焦点をあて、最新の調査研究成果を組み込んだ展示など、情報発信を積極的に行った。また、こころの再生府民運動への協力については提案に沿って積極的に行った。このほか、就労困難者の雇用についても積極的に行った。		◇就職困難者等の雇用 計画どおり雇用されている。 ◇府民・NPO との協働 適切な協働の企画が実行されている。 ◇環境問題への取組み 適切に実施されている。 ◇大阪府障がい者差別解消条例等に基づく合理的配慮の提供 「心のバリアフリー認定施設」の認定を取得したことはとりわけ評価できる。聴覚障がい者に対応した講演会や、校外学習の受け入れを積極的に行っている。 ◎府施策との整合にかかる評価 すべての評価基準を満たす、あるいはその見込みであり、全体として計画どおりの実施状況と評価できる。特に百舌鳥古市古墳群自体を中心に添えた特別展の開催は今年度の活動として特筆に値する。				
Ⅱさらなるサービスの向上に関する項目	(1)利用者満足度調査等	◇利用者満足度調査の実施により利用者の意見を把握し、その結果を運営に反映しているか。	◇利用者満足度調査の実施による利用者意見の反映 回答数 434 件。 常設展、特別展、こどもファーストデイなどのイベント開催時にアンケートを実施。それぞれのご来館者ニーズの把握に努めた。 意見を取入れ、講座や教室の最適な開催時間の設定、放映設備の改善等を継続して行い、随時意見の反映に取り組んでいる。 ◎自己評価 アンケートによるご意見を館内で共有し改善に繋げている。	A	◇利用者満足度調査の実施による利用者意見の反映 利用者の意見を反映した事業実施がなされている。特に今年度昨年度同時期より回答数が 55%増加しており、多くのアンケート結果が収集できている点が評価される。 ◎利用者満足度調査等 開催イベントごとにアンケートを収集し、意見反映に取り組むことで、良好な博物館環境	A	A		

[illegible]

		備されているか	との連絡会議（各月１回）及び博物館内会議（週１回）を開催し、事業情報の交換、入館状況、注意事項等の周知を図り、責任体制を明確にし、設置者及び法人本部からの適切な管理監督体制のもとに円滑な組織運営を行っている。		されているか 共同事業体間で日常的に密な連絡調整・情報共有がなされ、明確な管理監督・責任体制のもとで管理・運営がなされている。				
			◎自己評価 博物館の運営を効率的に進めるための必要な職員数を配置し、監督体制・責任体制を維持しながら、適切に事業実施ができています。		◎安定的な運営が可能となる人的能力にかかる評価 必要な人員の配置による確実な管理監督体制のもと、適切な業務が実施されていることから、評価基準を満たしている。				
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	◇法人の財務状況は適切か	◇【アクティオ株式会社】 指定管理事業で大型案件を受注するとともに、地方での新規案件も順調に受注する。加えて、人々の社会活動の活性化に伴う施設利用料や自主事業の売り上げが増加したことにより、売上高は前期比 13.5%増となる。 令和５年度決算（2023 年 1 月～2023 年 12 月） 売上高 10,438,115 千円 売上総利益 1,694,200 千円 営業利益 395,203 千円 経常利益 473,757 千円 純利益 324,361 千円 借入金なし 【近鉄ファシリティーズ株式会社】 近鉄グループのビル物件等を中心に、地方公共団体や民間企業の施設維持管理業務等を受注し、さらに事業統合並びに徹底したコスト削減により安定的収益を維持している。 令和６年度上半期 売上総利益 982,894 千円 営業利益 358,094 千円 経常利益 482,282 千円 純利益 330,282 千円 借入金なし 【株式会社乃村工藝社】 上期売上高は、下期に大型案件の進捗が集中している影響もあり前年同期に比べ減収となっているが、	A	◇法人の財務状況は適切か アクティオ株式会社・近鉄ファシリティーズ・乃村工藝社の３社共に経営状況は安定しており、借入金もない。	A	A		

			通期業績予想は、需要回復および下期に控える大型プロジェクトを着実に推進することで 増収で着地する確度が高いと見込んでいる。						
			令和 6 年度上半期（2024 年 3 月 1 日～2024 年 8 月 31 日） 売上高 57,945,000 千円 営業利益 1,442,000 千円 経常利益 1,527,000 千円 四半期純利益 851,000 千円		◎安定的な運営が可能となる財政的基盤にかかる評価 グループの各構成員とも安定した経営状況にあり、評価基準を満たしている。				

R 5 年度評価：A R 6 年度評価： A R 7 年度評価：
総合評価（R 5～7 年度）：II 最終評価（R 5～7 年度）：

※評価の基準：モニタリング評価は、次の基準により行うこととする。

①項目ごとの評価は下記の 4 段階評価とする。

S：計画を上回る優良な実施状況 A：計画どおりの良好な実施状況 B：計画どおりではないがほぼ良好な実施状況 C：改善を要する実施状況

②年度評価は、次の 4 段階評価とする。

S：項目ごとの評価のうち S が 5 割以上で、B・C がない A：項目ごとの評価のうち B が 2 割未満で、C がない B：S・A・C 以外

C：項目ごとの評価のうち C が 2 割以上。又は C が 2 割未満であっても文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合

③総合評価及び最終評価は、次の 4 段階評価とする。

I：評価対象となる年度の年度評価のうち S が 5 割以上で、B・C がない II：評価対象となる年度の年度評価のうち B が 3 割未満で、C がない III：I・II・IV 以外

IV：評価対象となる年度の年度評価のうち C が 5 割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く

※備考：R 6 年度は総合評価、R 7 年度は最終評価を行う。